

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで
つながろう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「地域、次世代と共に、
明るく!楽しく!!朗らか!!!に
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
2560地区ガバナー 大谷 光夫
高田ロータリー会長 高坂 光一
幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

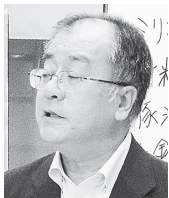
クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守
木村 隆

第12回例会 ■ 10月4日(金)

No.12

会長挨拶 ● 高坂 光一

スポーツの秋とIMと 米山・地域社会の経済発展月間



糸魚川で第7分区分IMが開かれ、分区内ロータリアン同士が交流を深めた28日、ラグビーワールドカップで日本代表が世界第二位アイルランドに勝利、翌日の世界陸上50km競歩でも鈴木選手が金メダルとスポーツの秋にふさわしい嬉しいニュースに溢れています。5日に開かれるラグビーサモア戦も勝利を願い応援しましょう。

さて、今月は米山月間です。ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する民間最大の奨学団体です。

当クラブでも、上越教育大の周勝男さんが米山奨学生として頑張っているらしいです。周さんが、この奨学制度により勉学・研究だけではなく、この地域を含む日本とたくさん交流を持ち、たくさん感じて将来帰国してもらえたらと願います。

更に、今月は地域社会の経済発展月間でもあります。国内外で地域経済発展のための人づくり、次世代を対象としたプログラムの他、アフガニスタンやベトナムでは地雷原をフルーツ畑や農地に変えることで農業を活性化し経済発展につなげ

る、タンザニアでは日本の野球文化の普及を通して「正義・尊敬・規律」を学ぶことで、国の将来を担う青少年の育成に寄与することを目指すプロジェクトが進んでいるそうです。

本日の卓話者、新潟経営大学の中島 純教授は青少年教育の専門家、5年前にRYLAで知り合い、すぐ意気投合し現在では良き友です。ロータリーでの出会いに感謝する今日この頃です。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

大谷光夫君・橋詰敏一君(9/26新発田中央RC・新発田城南RC公式訪問、9/27吉田RC公式訪問、10/1三条北RC公式訪問)

大谷光夫君・高坂光一君・遠藤 巖君・福田 聖君・羽深耕時君・堀井靖功君・齋藤尚明君・佐藤憲二君・高橋俊宣君・牧野章一君・水上喜芳君・本山秀樹君・中田 正君・大島 誠君・佐藤教彦君・山田守君・齋藤俊幸君・佐藤信明君・羽深元悟君・堀越和宏君・飯塚宏佳君・加藤公一君・小池猛紀君(10/5新井RC創立60周年式典)

セレモニー

米山記念奨学金贈呈 周 勝男さん

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

渡邊 隆君——関根学園 110 周年事業、皆様のご支援のおかげで無事終了。まことにありがとうございました。

親睦委員会——

10 月のお誕生日
各お祝い、10/11
お月見例会のご
案内



米山奨学委員会——寄付のお願い

遠藤地区大会実行委員長——地区大会ご協力のお
願い

大島衛星クラブ委員長——衛星クラブ進捗状況報告

会員インフォメーション

三井慶昭君——11/ 7 講演会のご案内

神田和明君——10/4・5 収穫祭のご案内、トラン
ヴェール・NIKKEI プラスに当社情報が掲載さ
れています。是非ご覧ください。

幹事報告

配布物：週報No.11

回 覧：ガバナー月信 10 月号

報 告：10 月のロータリーレート 108 円 / ドル

ガバナーインフォメーション

今後の公式訪問予定

10 月 15 日 新潟 RC

17 日 新潟西 RC

卓 話

ひとづくり・まちづくり・じぶんづくり—新潟の希望と若者への期待—



新潟経営大学 経営情報学部 教授 中島 純様

昨年 1 年だけで新潟県は 2 万 1 千
人の人口減となりました。ことに若
者の県外流出は深刻です。県外への
転出超過は 5 千 7 百人、その 8 割が
「学業」「職業」を理由とする 15 歳から 24 歳の若
者です。われわれ大学関係者は、県内企業、行政
とスクラムを組んで、若年者の人口減の問題に真
剣に向き合わないといけません。

新潟経営大学で、「加茂マカロニチップスプロ
ジェクト」に取り組んでいます。国産マカロニ発
祥の地である加茂市のご当地グルメを商店街の小
さなお店とコラボしてプロモーションし、まちの
活性化に貢献する活動です。高田もそうだけど、
新潟には、百年企業、いわゆる「老舗」が多い、
地域に密着した小売業、飲食店業が多いのが特徴
です。昔ながらの商店街は、若者を大切に育てて
くれます。これは新潟のもつ強みです。

学生は、大学で経営学を学んでいます。経営の
目的は、人をしあわせにすること。人とつながり、

価値を創造すること。おいしいものは人を笑顔に
し、元気にします。平成生まれの大学生は、従順
でおとなしい者が多い。一方で、他者意識が希薄
で、人との関わりを築くのを苦手になっています。
自尊感情が低く、未知のもの、新しいことにチャ
レンジしようとする意欲に乏しいところがありま
す。

そんな彼・彼女らだから、人と出会い、つな
がる経験は不可欠。イベントに出店し、地域の人と
のふれあいを体験する対面販売は、貴重なリアル
コミュニケーションの機会です。地域の活性化は
人間の活性化、人間の活性化は交流の活性化です。
地域ビジネスの現場は、世代間交流をもたらし、
人とまちを元気にします。わたしたち昭和世代の
人間は、新潟の未来のためにも、若者の将来のため
にも、若者との交流機会を積極的に創り出すべ
きです。上越市はリソースに恵まれていますし、
新潟には希望があると思います。

新井ロータリークラブ 創立60周年式典が開催される

10 月 5 日(土)新井 RC 創立 60 周年式典が、「デュ
オ・セレッソ」を会場に盛大に開催されました。
当クラブからは 25 名が参加しました。

